

藤森寿平 長野県国会開設運動を導いた人（後編）

②まとめ 明治の改革でめざした国家構想

維新政府 天皇制官僚国家 —— アジアで最初の立憲・独立国家実現

V S

↑ 武居塾理論・戦略の勝利

国民 長野県派 天皇制民権国家 江戸期の仁政思想に基づく上下利益論

V S

天皇否定せず 百姓一揆→請願権（豪農民権）

高知県派 民権国家 欧米民権思想の直輸入 革命権 ↓

否定（士族民権）

①南安曇郡の近代教育の先駆

明治3年 学校設立の建白書を松本藩主に提出（5年2月 筑摩県永山県令学校告諭書
8月 国の学制頒布）

4年 法蔵寺境内に高遠から高橋白山を招き「実践社」（青年教育機関）開く。

藩校・進徳館 ↓

5年 学制 研成学校（旧保高組）校長（師範学校・永山教育県政支援）

↓

穂高学校 藤森 豊科学校 変則課 武居

③長野県国会開設運動の継承（寿平日記・羅漢堂）

「民権の宗」

（1）貞享義烈碑の建立 明治13年200年祭のために「藤森託して武居撰文」

没後明治41年実現

浅井淵「多田嘉助の歌」

（2）松沢求策顕彰碑の建立 西園寺公望篆額 大正になり松本深志神社境内

共に降旗元太郎との話し合いから

（3）『南安曇郡誌』編纂

太田伯一郎との協力から 明治36（69才）郡長委員囑託

加助研究の発展（実証的歴史研究・古文書調査）→大正12年実現

八面大王の見直し「信濃のえみしを・・・王命に背くにより將軍田村丸の前に亡び
たり」（寿平文書）

その他 ●相馬愛蔵・黒光との交流 31年南安クラブ（風俗改良・実業等）井口も

34年白金 36年東京宅訪問 黒光『穂高高原』『山の桂谷さん』

●栗尾満願寺聖天堂・有明神社神楽殿天井画の製作

瀬川伊勢松

橋本雅邦

顕彰碑 豊科新田公民館前 関係史料 豊科郷土博物館